

## ぎょさいと積立ぷらすの活用で台風被害に備えを！

今年も本格的な台風シーズンが到来しました。7月は例年に比べて台風の発生数は少ない状況でしたが、8月上旬に8、9、10号が相次いで発生し、九州南部を中心に被害が発生しております。被害を受けられた方には心よりお見舞いを申し上げますとともに、被害が拡大しないことを祈るばかりです。また、気象庁の防災情報等により、迅速な身の安全と防災対策を行って下さい。

昨年は、29個の台風が発生し、そのうち5個が上陸しました。特に24号（9月28日～10月1日）は近畿、四国、九州地方の養殖業を中心に大きな被害をもたらしました。このような台風（低気圧含む）被害に対する昨年度の共済金の支払いは、養殖共済で9億円、漁業施設共済で4億円、合計で13億円となり、漁業経営のセーフティネットとして、一定の役割を果たすことができたと思っております。

今年は記録的な大雨が多く、1日で平年の1ヶ月の降水量を超える地域もあるなど、我々の想定を超える雨量となっています。記憶に新しい昨年（西日本豪雨（6月28日～7月8日）は、河川の氾濫や土砂災害等より死者200名を超える甚大な災害となりました。

このような激甚化する自然災害の備えとして「ぎょさい」と「積立ぷらす」をご活用下さい。

### 令和元年度の加入実績（7月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁獲共済	79,363	73,573	108%	4,739	3,975	119%
養殖共済	192,831	176,616	109%	7,096	6,693	106%
特定養殖共済	3,809	3,311	115%	188	168	112%
漁業施設共済	7,156	6,924	103%			
地域共済	6,113	4,718	130%			
合 計	289,273	265,142	109%	12,023	10,836	111%